

発展途上国や 子供達への支援

桐蔭横浜大学 田中ゼミTチーム

○小林 幹弘 味澤 一輝 長谷川 侑希 相良 瑞樹 小野田 英祐

支援対象

- 発展途上国の被災した人々を対象。
- 現地の子供たち。



現状

- ・発展途上国や災害にあった地域に対して多くの国や団体が様々な支援を行っている。



発展途上国の国民に対してプラスに作用している。

- ・日本だけでも、NPOやNGO、行政やボランティア、企業など、様々な団体が発展途上国にスポーツ支援を行っている。

対象地域例

・フィリピン共和国
首都→マニラ



人口→約1億98万人

・ネパール
首都→カトマンズ



人口→約2898万人



災害地域の被害状況(フィリピン)

- ・災害により、毎年1000人以上の命が失われている。



台風による被害は74%

フィリピンを襲った台風ハイヤン

- 台風ハイヤンとは、観測史上最大の台風。
→ 死者数**5796**人 行方不明約**1800**人
- 日本の動き→建築物やインフラの強靱化に取り組んだ。



出典：ユニセフ

<https://www.unicef.or.jp/news/2017/0281.html>

災害地域の被害状況(ネパール)

- ・ネパール大地震

→死者数**8896**人 負傷者**22302**人
行方不明者**198**人

- ・主な被害は建物倒壊であり、再建の為、現金収入を求め海外へ出稼ぎが増えた。

→**農村の過疎化**

出典：ネパールにハマール

<https://nepalovers.com/2017/11/earthquake-2halfyears-2017>

PTSDについて

- 紛争地域や災害の起きた地域では、**PTSD**という症状が見られる。

PTSDとは、心的外傷後ストレス障害の事であり
強烈なショック体験、強い精神ストレスが心のダメージと
なって、時間が経ってからも、その経験に対して強い恐怖を感じるものです。

PTSDの原因

・自然災害、火事、事故、戦争、暴力や犯罪被害などが原因といわれている。

日本では阪神淡路大震災の後にPTSDを発症する者もいた。

出典：災害後のPTSD

<https://ci.nii.ac.jp/nrid/1000020263387>

メンタルヘルスをめぐる米軍の現状と課題

PTSDの症状

- 症状は、当時の記憶がフラッシュすることや悪夢を見ると行った侵入症状。
- 原因となった状況を避けようとする、回避症状。
- 感覚が麻痺してしまい楽しさを感じられなくなってしまう。



PTSDの症状

- 常に感情が張り詰めてしまい危険を感じてしまうことによって睡眠障害が起こる。
- 物事に集中できなくなる。怒りっぽくなる。
- 薬物やアルコールに逃げ場を求め依存症に陥ってしまう。



PTSDの緩和方法

PTSDの患者には
安心して安全な環境を作ることが重要である。

出典：OPERATIONBLESSINGJAPAN
h https://objapan.org/lp/philippines_support

貧困層について

- 貧困層とは、人間としての最低限の生活を営むことができない状態。貧困には2つの種類がある。
- 絶対的貧困と相対的貧困。
- ネパールフィリピンは、**絶対的貧困**に分類され国民の4分の1以上が貧困層に含まれる。

出典：公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン
<https://cfc.or.jp/archives/column/2009/11/16/4075/>



貧困層の暮らし

・絶対的貧困にされる人たちは、家もなく、栄養を十分に摂取できていないのが現状である。

・ネパールでは、橋の下など、ゴミが山のように積んであるところで、お金になりそうなものをゴミの中から探し出し、それを売ってお金にして生活をしている。

出典：公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン
<https://cfc.or.jp/archives/column/2009/11/16/4075/>



ストリートチルドレン

- フィリピンでは、**ストリートチルドレン**が多い。
- 多くが11歳から14歳の男の子が多く約八割が男子である。
→ほとんどが学校に行っていない。**理由は経済的困難。**
- 仕事は、盗み 靴磨き 新聞やタバコなどの物売りなどで生計を立てている。
- ストリートチルドレンの約半数は最低一度の逮捕経験がある。

出典：ストリートチルドレン

<https://www.obirin.ac.jp/la/ico/con-sotsuron/sotsuron2010/2010M-oose.pdf>



マンホールチルドレン

・行き場を失っている子供達が、マンホールで暮らしています。

→マンホールチルドレン

**なぜ、マンホールで
暮らすのか？**



それは！！

- ・マンホールの中には温水供給パイプが通っていて地上よりも暖かいからである。

しかし、マンホールチルドレンの環境は劣悪で、子供たちは常に感染症や皮膚病の脅威と隣り合わせなのである。

支援の内容

- 海外で災害が起きた地域や、紛争等により心に負った人共達の対してスポーツやレクリエーションを通しての心のケアを行う。
- 支援の対象者に炊



具体的な運動支援内容

- ・具体的な運動とは、ウォーキング、体操、ストレッチをすることが有効である。



対象は子供達

鬼ごっこ。ストレッチは二人一組になり組体操を行う。ソフトバレー。



怪我をしてしまった子どもに対して。

- ・災害、紛争などで怪我をしてしまった子供たちに対して、怪我をしていても実施可能な運動を処方する。



参加してくれた子どもたちに対して。
スープやパン、フルーツなどの炊
き出しを行う。



**運動は生活リズムを作り、ストレス対策にも有効！
運動を通じて傷ついてしまった心のケアにも繋がる！
食事を提供することで健康水準をあげる！**



支援の形態

- 支援の形態としては非営利団体として活動する。
- 被災地なども入っているので、ボランティアとして活動。



支援の形態

・資格要件を満たし、私たちの考えた支援をアピールし、社会的必要性を感じてもらおう。

→助成金や補助金を利用して考える。

・現地に行く交通費などの飛行機の代金、支援先での生活費などは団体で負担。



支援を行う人々

- 支援先の仕切り、物事を円滑に進めたりしてくれる人が必要。



コーディネーター



総括

・スポーツやレクリエーション、食事を通じてコミュニケーションを取ることで、**集団行動**や**チームプレイ**、**自己主張**などの社会的なスキルを身に付けることができるとともに、心身ともに回復すると考えられる。

それらのスキルを身に付けることがこの支援活動の目的ともいえる。



引用参考文献

- ・鈴木 滋：「メンタルヘルスをめぐる米軍の現状と課題」
- ・岩井 圭司：「災害後のPTSD」神戸大学 p p 147-155, 2000-03-31 <https://ci.nii.ac.jp/nrid/1000020263387>
- ・厚生労働省 知ることからはじめようみんなのメンタルヘルス https://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease_ptsd.html
2018年9月25日閲覧
- ・OPERATION BLESSING JAPAN https://objapan.org/lp/philippines_support/ 2018年10月10日閲覧
- ・HUFFPOST https://www.huffingtonpost.jp/john-roome/effort-to-disaster_b_10709500.html 2018年10月10日閲覧
- ・ネパールにハマー <https://nepal-lovers.com/2017/11/earthquake-2halfyears-2017/> 2018年10月2日閲覧
- ・ユニセフ <https://www.unicef.or.jp/news/2017/0281.html> 2018年10月3日閲覧
- ・資金調達ノート 財務局 経済産業 認定支援機関 star-note.com 2018年9月9日閲覧
- ・アジアのGDP http://ecodb.net/ranking/area/A/imf_ngdpd.htm 2018年10月5日閲覧
- ・アジアの少年兵 <http://volunteer-platform.org/heisei/> 2018年9月15日閲覧
- ・NGOユイマール (マンホールチルドレン) <http://yuimar.org/manhole-children/manholechildren/> 2018年9月30日閲覧
- ・公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン (貧困層) <https://cfc.or.jp/archives/column/2009/11/16/4075/> 2018年10月9日閲覧
- ・ストリートチルドレン <https://www.obirin.ac.jp/la/ico/con-sotsuron/sotsuron2010/2010M-oose.pdf> 2018年9月8日閲覧